

巻頭フォトレポート

全力中学生 — 序 —

心を澄ませ、静かに歩んできた道を振り返り、静かに燃え、勝負のときを待つ



濃紺の道着に身を包み、精神を集中する内子中学校剣道部の皆さん。市郡総体の団体戦を勝ち抜き県総体へ駒を進めました。来たる勝負のときに向けて、日々心身の鍛錬を重ねます。選手たちは「力を出し切りたい」と口をそろえます。ともに歩んできた仲間とともに、勝利をつかむために――

今回は5月31日から行われた大洲市喜多郡中学校総体の様子と、県総体に向けて練習に励む皆さんのフォトレポートです。県大会には、小田中の剣道部女子、内子中の剣道部男子、ソフトボール部、五十崎中のバレーボール部が出場します。

いつの時代も変わらない一生懸命な子どもたちの輝きをお伝えします。



全力中学生 - 破 - 大会当日、選手の声、汗、願い

完全燃焼

内子町と大洲市の各会場で熱戦が繰り広げられた「第18回大洲市喜多郡中学校総合体育大会」。そこには最後まで諦めない選手と、全力で応援する人たちの姿がありました。県総体への出場を決めた各チームのキャプテンに、今の思いを聞きました。



市郡総体を終えて

県総体出場をかけた試合で大将を務めました。チームのみんなが副将まで五分の戦いでつないでくれました。自分で勝敗が決まる場面だったので緊張してしまい、序盤は相手にリードされて焦りました。それでも部員が拍手で力を送ってくれて、何とか取り返して引き分けに持ち込むことができました。

続く代表戦は一本勝負で、同じ大将同士の対戦です。試合の合間に少し時間があり、そこで自分の剣道を振り返ることで落ち着きを取り戻しました。今まで練習してきたことを信じて力を出し切ったことが、勝ちにつながったと思います。

昨年の新人戦はベスト16でした。強豪と当たりますが、県でも自分たちの剣道をして、今年は8強入りを目指します。

練習を信じて力を出し切る

内子中学校剣道部
宮内 隆誠さん



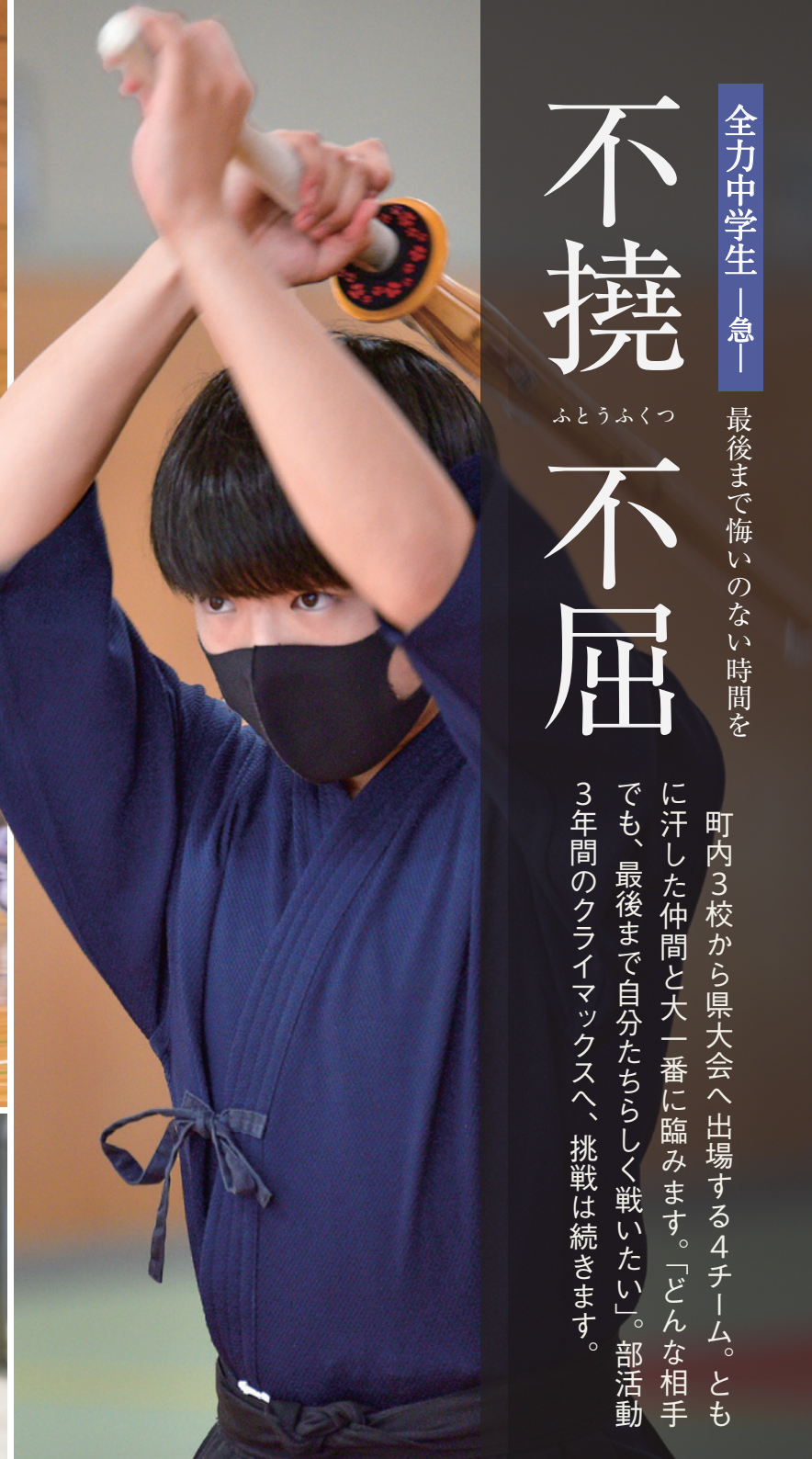
みんなで県総体へ行くことが目標だったので、団体戦で優勝できてほっとしています。みんなが大将の私までつなこうと一生懸命頑張ってくれました。周りに助けられた分、次は私が技を決めてチームを助けたいです。これまで磨いてきた技術を出し切って、全員で四国大会に行くことが今の目標です。

私は女子剣道部で唯一の3年生です。部員は学年関係なく仲が良く、悪いところも言い合い、高め合える仲間です。私は主将をしています。チームメイトに支えられてばかりいます。連続打ち込みなどのつらい練習も、一緒に励まし合える仲間がいたから乗り越えられました。苦しい時こそ自分の一生懸命な姿を見せて、チームを引っ張ってみたいです。

励まし合える仲間のおかげ

小田中学校剣道部
武田 海緒さん





全力中学生―急―

最後まで悔いのない時間を

不撓不屈

ふとうふくつ

町内3校から県大会へ出場する4チーム。ともに汗した仲間と大一番に臨みます。「どんな相手でも、最後まで自分たちらしく戦いたい」。部活動3年間のクライマックスへ、挑戦は続きます。



県総体に向けて

昨年から内子・五十崎中の合同チームで練習しています。市郡総体では他の参加校がいなかったのですが、試合がなく県総体を迎えることになりました。相手は予選を勝ち抜いてきて勢いがあると思いますが、気持ちでは負けたくありません。自分から元気よく声を出して、キャプテンとしてチームのみんなに戦う姿勢を見せたいと思います。

新型コロナウイルスの影響でなかなか対外試合ができない中、内子高校の皆さんと試合をさせてもらうこともありました。先輩から「頑張ってるね」と声をかけられたり、アドバイスをもらったりしたことが励みになりました。支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、一つ一つのプレーを大切に、悔いのない試合をしたいです。

感謝を忘れずに悔いなく

内子中学校ソフトボール部
上田 梨代さん



市郡総体では決勝で負けてしまいました。強豪相手にも接戦のいい試合ができました。粘り強さがチームの持ち味なので、県総体でも私たちがらしいプレーをしたいです。

元々レシーバーをしていて、新人戦のころからセッターをしています。人に合わせて打ちやすいトスを上げるのは難しいですが、うまく息があって強いスパイクが決まったときは気持ちがいいです。メンバーは個性が豊かで、プレーに対してそれぞれが考えがあり、意見が合わないこともあります。うまくいかないときは「こうすればいいんじゃない」と誰かが提案して、練習で試して納得がいく形を見つけていきます。どうすれば勝てるのかをみんなで話し合える良いチームだと思います。

私たちがらしい粘り強さを

五十崎中学校バレーボール部
白石 泉さん

